

警察署協議会議事概要

| | |
|------|---|
| 協議会名 | 神奈川県横須賀警察署協議会 |
| 日 時 | 令和5年5月26日（金）午後2時から午後4時までの間 |
| 場 所 | 神奈川県横須賀警察署 |
| 出席者 | <p>1 警察署協議会側 会長 井上道英、副会長 中村明根、鶴飼進、小澤長幸、杵渕哲也、桐ヶ谷主税、櫻井愛、島崎竹司、清水美弘、鈴木孝芳、多賀敏夫、津田征郎、平井慶一郎、廣田眞作 計14人</p> <p>2 警察署側 署長 長谷善明、副署長 田邊努、会計担当次長 西川正信、地域担当次長 大澤行宏、刑事担当次長 徳田記久、警備担当次長 佐藤洋、調査官 佐々木善春、留置管理課長 山田瑞樹、生活安全課長 本多俊雄、刑事第一課長 門岡慶明、刑事第二課長 本間忠宗、交通課長 工藤誉、警備課長 石川春樹 計13人</p> |
| 議事要旨 | 警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明 |
| | <p>1 諮問 「優秀な人材を確保するための採用活動について」</p> <p>2 答申 ・警察官の待遇（給与、人事異動、通勤等）を改善しアピールする。 ・制服をスタイリッシュにする。 ・「警察官は危険な仕事」などのブラックイメージを解消し「楽しい仕事もある」などの働き方の説明をしてはどうか。 ・職員の家族や母校へのアピールを行う。 ・就職の適齢期に近い高校への訪問活動の強化 ・警察署ホームページの有効活用 ・警察職員と学生が武道などスポーツで交流してはどうか。</p> <p>3 措置結果 ・県警察全体の課題のため、本答申は本部報告を実施した。 ・制服は全国の警察で統一され、着用方法も規定等によるため、本答申は本部報告を実施した。 ・インターンシップなどの採用イベントにおいて、積極的に職員の体験談等を通じ、様々な働き方をアピールしていく。 ・今後は、職員から就職適齢期の子息や親せきに対し、警察官の募集パンフレットなどを手渡すなど、積極的な働きかけを実施する。 ・高校新卒予定者が対象となる第二回試験の募集に向け、管内の全高校等に採用担当者が訪問し、就職担当者と顔の見える関係を構築を行う。 （7月下旬、当署において高校生対象のインターンシップを開催予定） ・神奈川県警察ホームページの大幅リニューアル作業後、当署ホームページの採用コーナーを強化予定である。 ・柔・剣道部の活動が活発な高校・大学の出身者が、OBとして練習やイベントなどに参加し、現役学生と交流している。</p> |
| | 諮問 |

「横須賀警察署の広報活動について」

答申

- ・対象や目的を明確にした広報活動を今後も続けていく。
- ・SNSを活用した広報活動をしてはどうか。
- ・二次元コードを活用し、キャンペーンや広報活動の周知をしてはどうか。

業務説明

前四半期（令和5年1月から3月まで）の業務結果報告及び今四半期（令和5年4月から6月まで）の業務推進計画について配布資料とパワーポイントを併用し説明を実施した。